

## 5 移動特性

### (1) 移動目的

平成 20(2008)年に比べ平成 30(2018)年の「自宅 - 勤務」目的や「自宅 - 私事」目的がわずかに増加している。

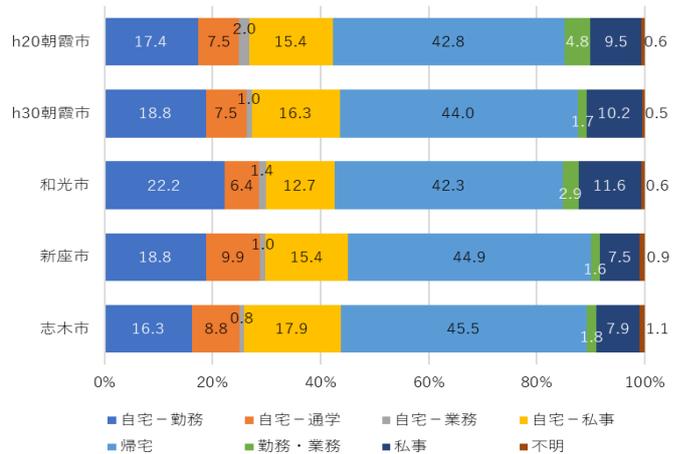


図 23 平成 20 年、平成 30 年の朝霞市及び近隣市の移動目的割合

(出典：東京都市圏パーソントリップ調査※)

### (2) 移動手段

平成 30(2018)年において、鉄道が 31.0%と最も高く、次いで徒歩で 26.1%となっており、公共交通、自動車、自転車、徒歩等がバランスよく利用されている。平成 20(2008)年と比較して、鉄道の割合が増加し、自動車の割合が減少していることから、この 10 年で都心への移動の利便性向上による鉄道への転換が予測される。

なお、本市における人口千人あたりの普通自動車等保有車両数は 281.4 台、軽自動車保有車両数は 97.3 台で、県内でも低い保有率である(平成 31(2019)年 3 月末時点)。(出典：統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020)

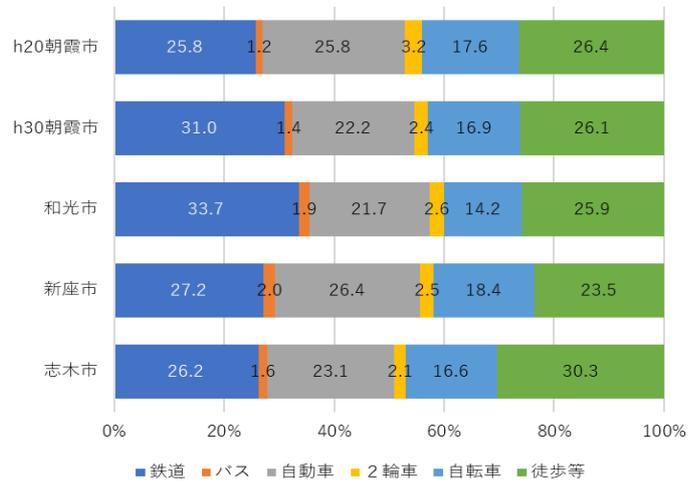


図 24 平成 20 年、平成 30 年の朝霞市及び近隣市の移動手段割合

(出典：東京都市圏パーソントリップ調査)

### (3) 目的地分布

朝霞市内に出発地と目的地がある内々交通※の割合は、全体の約 50%を占めている。内外交通※は、近隣の新座市や志木市への交通が多い。

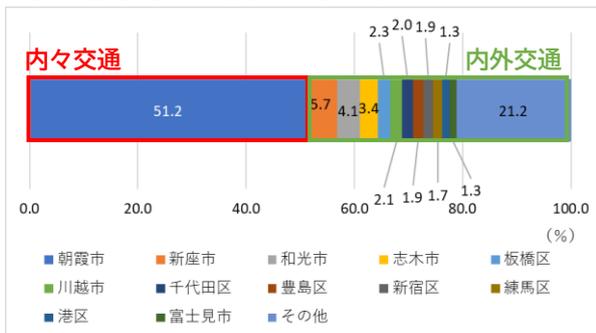


図 25 目的地割合

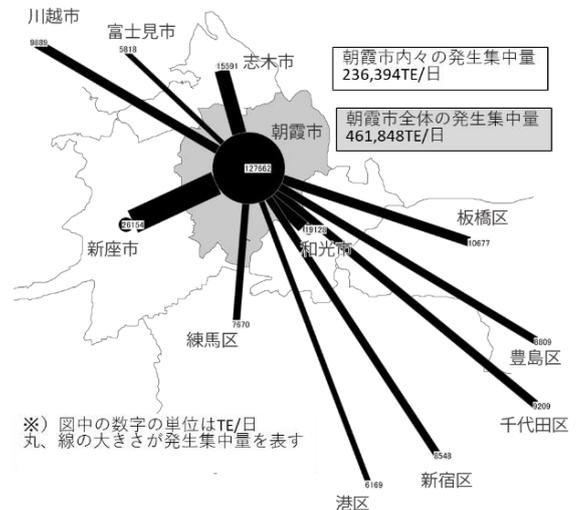


図 26 目的地分布図

(出典：東京都市圏パーソントリップ調査)